

トップアスリートに聞く③



鈴木英さん

●Profile 気仙沼市出身。2017-18シーズン全日本スキー連盟ユース管理指定選手に選出された。17年4月には世界トップレベルの大会であるウィスラーカップに日本代表として出場。勝負飯はかつ丼。

日本にアルペンスキーを広めたい

小3からアルペンスキーをはじめました。冬は祭時のスキー場、夏は山形などで足腰を鍛えています。フォームを意識した地道な練習を心掛けています。

周りから認められる滑りができるようになって、人柄も尊敬される選手になりたいです。まずは全国の舞台で優勝し、国際大会へ勝つことが目標です。アルペンスキーは日本ではまだまだマイナーな競技。この競技で世界舞台に立って、アルペン競技をもっと全国に広めたいです。

【主な大会成績】

- 2017年全日本ジュニアスキー選手権大会(中学生の部)(17年2月)…アルペンスーパー大回転で準優勝
- 第24回全日本選抜ジュニアスキー選手権大会(17年2月)…スーパー大回転で7位
- 第25回ウィスラーカップ2017(17年4月)…U16女子スーパー大回転第35位、U16女子回転第29位

選手たちはそれぞれが大きな夢を描く。一番になりたい。県で、全国で、世界で。一関勢の活躍は、そんな夢を後押ししてくれる。「やればできる」と信じさせてくれる。吉報を待とう。努力した時は、決して夢を裏切らない。全国への切符を勝ち取った選手たち。彼らの熱い闘いはこれからだ。

興田スポーツ少年団バレーボール部 第37回ファミリーマートカップ全日本バレーボール小学生大会県大会男女混合の部 優勝



興田小と猿沢小の児童で構成する興田スポーツ少年団バレーボール部は結成から12年目に念願の全国大会出場を決めた。主将の村上快君(興田小6年)は「県大会ではみんなが役割を果たせた」と振り返り、「早い攻撃で4強を目指したい」と意気込む。伊東吉光監督は「男子と女子の良さがうまくかみ合った。県代表として一つでも多く勝ちたい」と大会を見据える。

ソフトボール大東ブルースターズ 全日本小学生女子ソフトボール大会県予選会 2位



大東小と大原小の児童で構成する大東ブルースターズが千葉県で行われる全国大会に出場する。県予選会決勝で前沢フェニックスに破れたものの、県第2代表枠をもぎ取った。主将の菅原夏葵さん(大原小6年)は「このチームで初めての全国大会。楽しんで実力を出し切りたい」と笑顔。佐藤智義監督は「笑顔と元気をモットーに初戦突破を目指したい」と意気込みを示す。

一関卓心クラブ/ MYTAKU 県卓球選手権兼全農杯全日本選手権予選会 2位、3位



4月に行われた県予選会で、ホープスの部(6年生以下)で遠藤唯桜花さん(厳美小5年)が第3位に、カブの部(4年生以下)で菅原菜乃春さん(同4年)が2位に、バンビの部(2年生以下)で佐藤美菜子さん(舞川小1年)が2位に入賞し、7月28日から神戸市で開催される全国大会に出場する。遠藤さんは、4回目、菅原さんは3回目、佐藤さんは初めての出場となる。

一関スポーツ少年団/猿沢スポーツ少年団 第34回全日本小学生ソフトテニス選手権大会県予選会 3位



県予選会で3位入賞を果たした菊地怜奈・及川日菜ペア(ともに猿沢小6年・猿沢スポーツ少年団)と星いつみ・柴田優里ペア(ともに赤荻小6年・一関スポーツ少年団)は、全国大会の団体戦と個人戦に出場する。一関スポーツ少年団の山田雅宏コーチは「プレッシャーを感じず、のびのびプレーしてほしい」と活躍を期待している。

夏の戦いに挑むのは高校生だけではない。興田スポーツ少年団バレーボール部は活動開始から12年目に念願の全国大会出場を決めた。大東ブルースターズは昨年の予選で初戦敗退した悔しさをバネに笑顔と元気で全国へ挑む。市内の小中学生のめざましい活躍は、新たなトップアスリートの登場を期待させる。

努力した時間は夢を裏切らない

輝く未来に期待 次世代の選手たち

一関修紅バレーボール部

2年連続10度目の優勝



第69回県高校総体バレーボール男子の決勝戦は5月29日、盛岡市で行われ、不来方高校に逆転勝利して2年連続10回目のインターハイ出場を決めた。高さとコンビバレーが持ち味の同チームは2年生が主力。主将の高橋修尉君(3年)は「レシーブをしっかりと攻撃につなげたい」と意気込む。高橋昇禎監督は「バックアタックを絡めたコンビバレーの精度を上げ、勝ち上がりたい」と力を込めた。

3. 疾風怒濤

Chapter.3



渡邊ひらり、鎌田夏鈴ペア

ビーチバレーボール 優勝

2年後の国体を見据え全国に初挑戦

第29回ビーチバレーボール岩手県大会は7月2日、陸前高田市で行われ、渡邊ひらり・鎌田夏鈴ペア(ともに一関修紅1年)が初出場で初優勝した。決勝戦で2人は大船渡高校の選手相手に28-9と快勝。全国大会である17マドンナカップin伊

予市ビーチバレーボールジャパン女子ジュニア選手権大会の出場を決めた。栗生澤等監督は「再来年の茨城国体から正式種目になる同競技。今から準備して挑みたい」と今回の全国大会の先を見据えている。

